

入 試（詳細は募集要項にてご確認ください）

1. 募集人員

研究科等	入学定員	選 抜 区 分		
看護学研究科 看護学専攻	10名	一般選抜	社会人特別選抜	学内推薦選抜

2. 選抜方法

選 抜 区 分	出 願 資 格	選 抜 方 法 等	試 験 科 目
一般選抜	看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する者で、大学を卒業した者、当該年度に卒業見込みの者及び本学が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者	筆記試験、面接の結果及び学業成績証明書の内容を総合して行う。	◆ 英語 (英語外部検定試験®のスコア) ◆ 小論文 ◆ 面接
社会人特別選抜	上記一般選抜の資格を持ち、医療機関等や官公庁に在職し、機関の長から推薦された入学時3年以上の実務経験がある者	筆記試験、面接の結果及び学業成績証明書並びに推薦状の内容を総合して行う。	◆ 英語 (英語外部検定試験®のスコア) ◆ 小論文 ◆ 面接
学内推薦選抜	本学を卒業予定の看護学部生で、学業成績及び人物ともに優れた者	面接試験による選抜を行う。	◆面接試験

※本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験した TOEIC L&R（公開テスト）又は TOEFL（iBT）の成績を証明する書類の原本を出願時に提出すること。

入 学 金 ・ 授 業 料

入 学 料	富山県の住民	188,000円	授 業 料	前期・後期 267,900円 (年間535,800円)
	富山県以外の住民	282,000円		

※その他テキスト代、実習に伴う経費（交通費等）がかかります。

免除制度

制 度 名 称	対 象	納 入 額	主 な 基 準
富山県立大学授業料免除制度	大学院生 専攻科生 留学生	全額免除： 0円 半額免除：133,950円	次のいずれかに該当する者 (ア) 経済的理由により修学に困難があり、かつ、学業成績が優秀であると理事長が認めた者 (イ) 制度ごとに定められた期間内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が天災その他の災害を受け、経済的理由により修学に困難があると理事長が認めた者
富山県立大学入学科免除制度	大学院生 専攻科生 留学生	全額免除： 0円 半額免除： 94,000円（県内出身者） 141,000円（県外出身者）	

アクセス

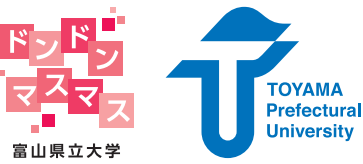


JR富山駅、あいの風とやま鉄道富山駅から、地鉄バス「中央病院行」約20分、または地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩7分。



〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号
TEL:0766-464-5410(代) FAX:076-422-6070
URL:https://www.pu-toyama.ac.jp/

発行日 2024年2月



Toyama Prefectural University Graduate School

富山県立大学大学院
看護学研究科
修士課程

研究科長挨拶



看護学研究科長
佐伯 和子

富山県立大学大学院看護学研究科看護学専攻は2023（令和5）年4月に、研究コースと専門看護師コース（老年看護専攻）で開設されました。

社会は複雑になり変化が激しく、将来の予測が不能な時代になりつつあります。COVID-19のパンデミック、地震や大雪など自然災害が頻繁に発生し、看護職としての危機対応とマネジメント力が求められています。人生100年時代においては、人々は病気を予防し、疾病をコントロールすることで健康寿命を延伸させ、また、病気とともに生き、最期は住み慣れた地域で満足のいく人生を送りたいと思っています。医療の高度化は医療機関における看護の機能にも影響を及ぼしています。変化する保健医療福祉において地域包括ケアでの医療と生活のマネジメントは看護の重要な役割です。

大学院では、理論と実践の融合を目指し、研究を通して保健医療福祉の現場における課題を解決するためのエビデンスを生み出し、実践を変革できる基礎となる力を養います。富山県の看護を牽引し、未来の発展に向けて推進するリーダーとなる人たちを育成します。富山から世界へ発信できる人材が育ってくれることを願っています。学生の皆さんと教職員と一緒に新しい大学院をつくっていきましょう。

アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

- 本研究科の入学者には、看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する次の素養をもった人を求めます。
- 1. 看護学の基礎知識と総合的な学力を有する人
 - 2. 豊かな人間性と高い探究心を持ち、自主的・意欲的に学び、看護学の向上に寄与したい人
 - 3. 倫理観及び、地域社会や国際社会に貢献する意思と責任感を有する人

ディプロマポリシー

- 1. 医療及び看護の先端技術を含む高度な専門的知識を持ち、活用する能力を身につけている。
- 2. 保健、医療、福祉の場で、リーダーシップを発揮し、多職種・多機関と連携・協働し、看護倫理に基づく実践能力を身につけている。
- 3. 看護学研究を進める上での一般的手法を理解し、課題を科学的に解決する能力を身につけている。
- 4. 国際的な保健医療に関心を持ち、柔軟な思考と広い視野を身につけている。
- 5. 地域や社会の保健医療福祉の課題解決に向けて主体的に取り組む能力を身につけている。
- 6. 看護職者として生涯にわたって自己研鑽し続け、プロフェッショナルとしての高い意識と倫理観をもって行動できる力を身につけている。



専攻・コース

研究コース

看護職者として質の高い医療・看護をより効率的に提供していくために、深化した看護専門知識を持ち、多職種・多機関との連携・協働においてリーダーシップを発揮できる能力、かつ広い視野を持って看護を探究する能力を兼ね備えた、より高度な看護人材を育成します。研究分野は、次の5分野から選択します。

基礎看護学

専門職としての質を高めるために重要となる看護継続教育のプログラムや運用の実践について理解を深めます。その上で、エビデンスに基づく看護実践や、看護倫理を基盤とした対象者の尊厳を守り、かつ自律を支援するための看護実践の課題と研究方法を学修し、自らの研究課題に取り組む基礎的な能力を培います。



成人看護学

健康障害を持ちながら生活する成人期の人々の健康課題に対応した質の高い看護援助に活用できる概念や理論を学修します。患者やその家族に対する看護を根拠に基づいた臨床判断、意思決定、看護介入、評価等の観点から探究します。



老年精神看護学

老年精神看護学の基盤となる概念、理論及び重要な実践モデルを最新の知見に基づき学修します。地域で生活する高齢者や精神障がい者及びその家族の健康課題と支援の実践例を通して、理論・モデルの実践への応用について理解を深め、演習によって、課題解決に向けた研究に応用できる基礎的な能力を培います。



母子看護学

女性のライフサイクル全般及び周産期における母子とその家族の健康課題・子どもの成長発達に応じた子どもとその家族の健康課題を理解し、エビデンスに基づいた支援のあり方を探究します。



地域在宅看護学

地域を基盤にして行われる公衆衛生看護、在宅看護の対象者・家族及び人々の健康状態とその背景であるコミュニティをより専門的に理解し、実践の理論的根拠を学修します。課題解決に向けた地域における看護の多様なアプローチについて理解を深め、各専門職とのディスカッションやフィールドワークを通して、理論と実践を融合できる能力を培います。



専門看護師コース

医療・介護ニーズの高い75歳以上人口の増加が続く富山県の現状を踏まえ、老年看護学分野の専門看護師を育成します。老年看護分野の専門性を発揮しながら、卓越したケアを提供するとともに、総合的な判断力と広い視野を持って、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たし、施設全体や地域の看護の質の向上に努めることができる能力を培います。



フィジカルアセスメント特論の様子

老年看護専攻教育課程

富山県の看護を担い、看護のスペシャリストでもある専門看護師の輩出を目指します。

研究指導教員紹介

2024年3月現在

最新の研究指導教員
および研究内容は
Web サイトへ



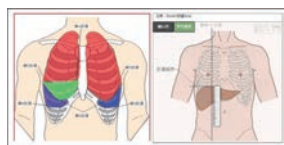
研究コースの指導教員には★、専門看護師コースの指導教員には◎がついている

基礎看護学



看護技術、ユマニチュード、教育方法 教授 岡本 恵里 ★

看護基礎教育・卒後教育・看護継続教育という看護生涯教育に興味を持ち、学習者の主体性を引き出すような教育プログラムの構築やデジタル教材の開発等、教育方法や教育評価について研究をしています。主なテーマは、看護倫理・フィジカルアセスメントなどの看護技術の教育、看護師の自律的キャリア形成・職業性ストレスや離職、認定インストラクターの資格を活かしたユマニチュード®や認知症看護に関する内容です。



褥瘡予防ケア・創傷看護・看護技術 准教授 浦井 珠恵 ★

創閉鎖部を評価するデバイスとして、これまで超音波診断装置（エコー）やスキンプロッティング (Minematsu T et al., 2014) の有用性を検討してきました。摩擦係数が低い被覆剤の貼付により再発を予防できた症例 (Urai T et al., 2019) を経験し、骨突出部にかかるずれ力の軽減が褥瘡の再発予防に重要であると考えています。現在は、骨突出部にかかるずれ力を指標にした褥瘡予防ケアの評価に向けて取り組んでいます。

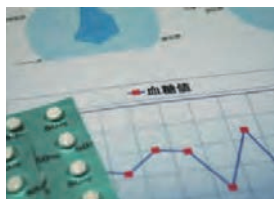


成人看護学



慢性疾患看護、成人看護学教育 教授 片田 裕子 ★

医療機関の協力を得て、患者や看護師のデータから機器開発、プログラム開発、リラクセーション法効果の研究を行っています。正確で継続的な生活実態の把握から合併症予防に繋げることににより患者への効果的な看護、看護師の効率的な看護実践の検証を行います。このことより今後の超高齢化、医療の多様性選択、医療従事者のセルフエフィカシー向上等、個別性のある、人にやさしい看護実践および発展への寄与を全人的な視点から目指します。



エンドオブライフケア、グリーフケア 教授 比嘉 肖江 ★

スピリチュアルウェルビーイングとは、「人生の意味と目的を、自己・他者・世界・自分より大きな力とのつながりの中で統合するパターン」のことをいいます (NANDA-I, 2021)。これまで、インドネシア共和国ジャカルタ・イスラーム病院をフィールドに、スピリチュアルウェルビーイングの調査研究を行ってきました。現在は、その調査研究を基に、エンドオブライフケアと医療者のグリーフケアの研究を行っています。

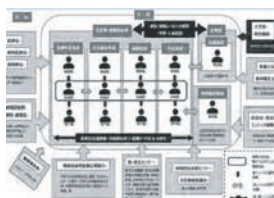


地域在宅看護学



公衆衛生看護学 事業評価 キャリア支援 教授 越田 美穂子 ★

地域の専門職や住民、関係機関と協働で研究を進めています。最近、富山県後期高齢者医療広域連合と共同で、「介護予防と保健事業の一体的実施」事業での自治体内外の連携について研究を行いました。また認知症支援の研究では、当事者や施設支援者への介入効果だけでなく、地域への波及効果等の公衆衛生看護の視点や、本学工学部と連携した工学的視点を導入して分析を行い、地域保健活動での実践効果の可視化を目指しています。



公衆衛生看護学・精神保健・介護予防 准教授 清水 暢子 ★

地域の高齢者が参加している、介護予防教室では、運動や音楽、ダンス、パソコン教室やマージャンなど、多くの予防的介入が実施されていますが、実際にそれが効果を発揮しているのか明確ではありません。そこで、近赤外分光法 (NIRS) を使用した効果測定方法を国内外の高齢者サロンへ行って測定、分析し、生活背景の違う様々な場所で、高齢者への認知機能低下予防活動の評価方法の確立に努めています。

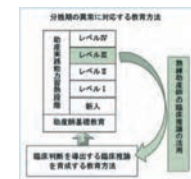


母子看護学



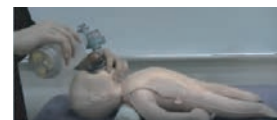
助産基礎教育・臨床判断・臨床推論 教授 松井 弘美 ★

熟練助産師の臨床判断のプロセスは、推論を用いた論理的思考とヒューリスティックによる直観的思考を連動させ分娩時の状況を解釈し、またその過程で助産師としての分娩の考え方と照らし合わせて判断していました。今後は分娩期の異常として助産師が最も多く経験していた事例における助産師のスクリプトを分析し、助産師の臨床推論の内容を具体的に提示し、基礎教育で推論を学ぶ方法の開発につなげたいと考えています。



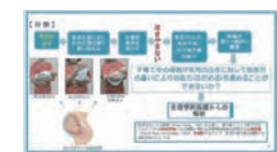
母乳育児支援、NICU・新生児看護、シミュレーション教育 准教授 小林 絵里子 ★

母乳育児をしたい母親を支援する医療者のケアや知識習得の支援に関する研究、NICU や新生児看護に関する研究を行っています。また、シミュレーション教育は学生にも社会人にも学習効果が大きいといわれていますが、効果的なシミュレーション教育プログラムの開発に取り組んでいます。経験を貴重な学びの機会とするために観察方法を学ぶ一助となり、教育の質向上につながると考えています。



親子相互作用・育児支援・乳児の泣き 准教授 村田 美代子 ★

出生後の乳児の抱き方は横抱き、縦抱き、生理的屈曲姿勢抱きなどがあり、抱き方における乳児の生理学的影響を明らかにすることで、母親やその家族の育児支援につながると考えています。抱き姿勢画像の機械学習の分析では、生理的屈曲姿勢抱きの識別は、91.0%の正解率が得られ、今後子育て中の親に限らず、出産前から人形を用いた抱き方の自己チェック等ができるアプリ開発など親になる人々への活用ができるのではないかと考えます。



老年精神看護学



健康増進、腰痛改善、経穴刺激 教授 張 平平 ★◎

本研究では、地域高齢者自身がやりやすく、臨床で鍼灸効果が検証された腎虚腰痛の改善につながる経穴として、「腎経」と「脾経」に属する下肢3箇所の経穴 (1築賓〈ちくひん〉、2復溜〈ふくりゅう〉、3漏谷〈ろうこく〉) を精選します。老年看護の専門家と東洋医学の専門家による指導と安全確認のもと、地域高齢者が自ら経穴刺激法を実施します。腰部血流の増加につながる経穴刺激の効果は主観的・客観的な側面から評価します。



認知症ケア・意思決定支援・発達課題 教授 木谷 尚美 ★◎

初期認知症高齢者が老年期の発達課題である「人生の統合」を獲得するための「現在・過去・未来を語り、オレンジノートに遺す支援プログラム」を開発しました。認知症初期の段階であれば十分に自分の思いを語ることができ、この時期の看護は認知症高齢者の生き方の決定に活かすための支援につながると考えています。現在は診療所に勤務する看護職が高齢者の意思決定を支援するための教育プログラムの作成に取り組んでいます。



長期ケア施設・キャリア支援 准教授 伊藤 裕佳 ★◎

長期ケア施設で働く看護職の多くが病院での経験を経ていることから、就職後の教育的支援や成長過程について明確に示されていない現状があります。また介護職では、その人材育成を看護職が担っていることがあります。そこで、長期ケア施設の看護職の成長について調査し、さらに看護職による介護職のキャリア支援の実践を調査しました。また、長期ケア施設における看護職・介護職へのキャリア支援プログラムの開発に取り組んでいます。



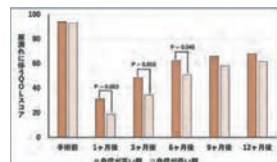
認知症ケア・家族・ユマニチュード 准教授 青柳 寿弥 ★◎

認知症の人をケアするご家族が、病気の症状に対してどのように対応すればよいのか、どのような社会サービスを利用できるのか等を主体的に学ぶことができるタブレット端末の教材を開発し、更なる精錬を目指しています。また、認知症によって会話等が難しくなっても、その人との間に絆を結び、通じ合えることができるユマニチュード® ケア技法を、看護学教育に取り入れ、病院や施設への更なる普及に取り組んでいます。



前立腺がん・QOL・排尿ケア 講師 川口 寛介 ◎

高齢男性に多い前立腺がん患者への看護に関する研究に取り組んでいます。特に、手術を受ける患者を対象にインタビュー調査や長期的な追跡調査を行い、多角的な視点から QOL 評価を行っています。がんと診断され治療を受けながらも自分に自信をもちながら暮らすことができるよう、身体面・精神面・社会面から QOL を理解し、QOL を高める支援を目指しています。また、尿失禁等の排尿ケアに関する研究にも取り組んでいます。



修士課程カリキュラム

高度な看護実践能力を備え、課題を科学的に探究し、地域や社会の発展に寄与できる人材を育成するため、次の教育課程を構成しています。

◆共通科目

看護職者としての倫理観と広い視野、及び多職種・多機関と連携・協働するリーダーシップを培う。

◆看護専門科目

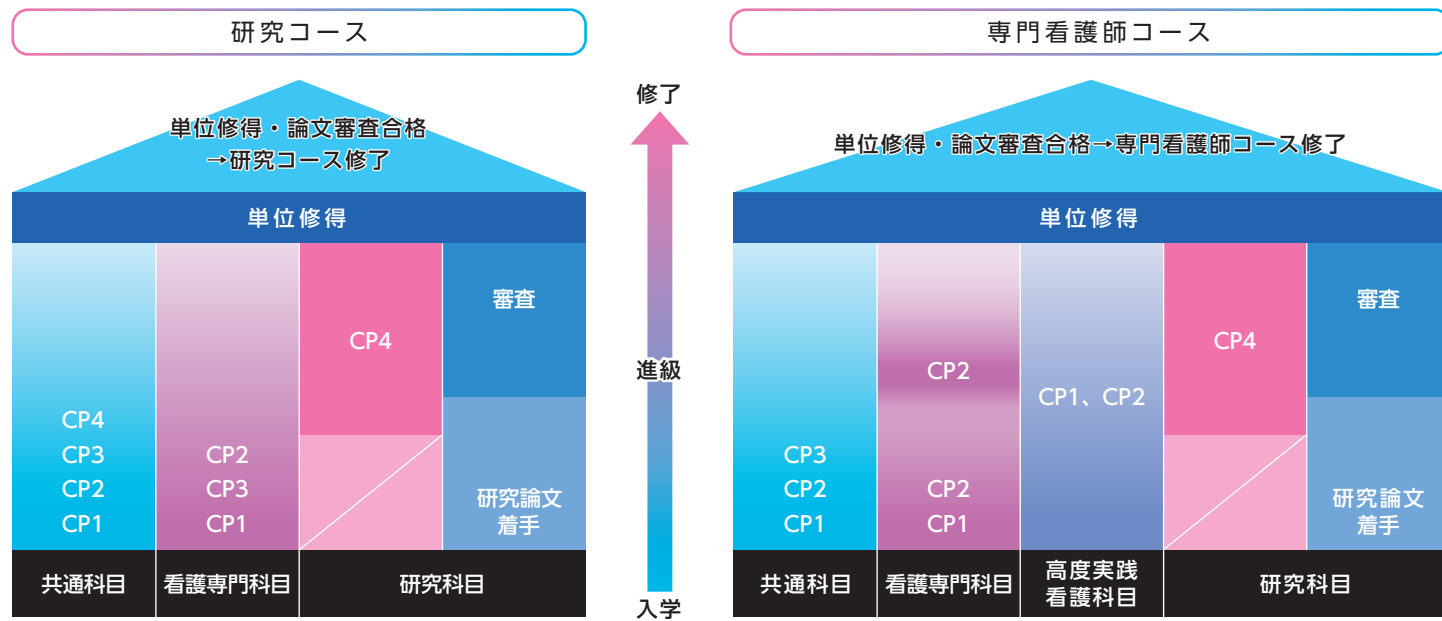
各分野における最新の動向とトピックを学び、より高度な看護実践方法と課題を解決のための研究方法を学修する。

◆高度実践看護科目

複雑かつ多様な看護を展開するための高度な看護判断、実践、評価する能力を修得する。

◆研究科目

看護学研究を進める上での一般的手法を理解し、課題解決する能力を修得する。



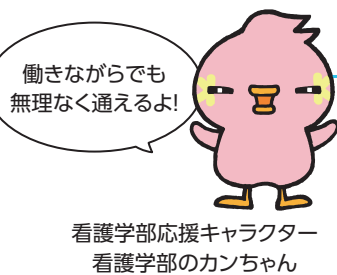
※入学から終了までの、各CP(カリキュラム・ポリシー)に位置付けられた授業科目の履修イメージです。
学生個々の事情を踏まえ、2～3年にわたる履修計画に基づいて修了を目指せます。

カリキュラムポリシー

1. 医療や看護の先端技術を含む、より高度な専門的知識を身につけ、活用する能力を育む。
2. 保健、医療、福祉などのあらゆる場において、リーダーシップをもって多職種・多機関と連携・協働し、倫理に基づく看護を実践する能力の一層の向上を図る。
3. 看護学研究を進める上での一般的手法を理解し、より困難な課題に挑戦し解決する能力を培う。
4. 国際的な保健医療に関心を持ち、併せて地域や社会の保健医療福祉の課題解決に向けて主体的に取り組む能力を培う。

社会人に対する配慮

- 夜間・休日授業、長期休暇期間を利用した集中講義など個々の時間に配慮した指導時間の設定
- 定職者向けに修業年限の2年を超えて2学期(1年)分まで延長できる長期履修制度あり
- 教育訓練給付制度を用いた経済支援



教育訓練給付制度

本学看護学研究科では教育訓練給付制度の対象講座として厚生労働省に指定申請を行っています。教育訓練給付は雇用保険に加入している等一定の受給要件を満たす方が、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した場合に、その費用の一部が教育訓練給付金として支給されるもので、大学院での学びなおしを目的とする方には経済的なメリットが大きいです。(支給条件等詳細は厚生労働省ホームページまたはお近くのハローワークへご確認ください。)

研究生紹介

2023年4月に開設された富山県立大学大学院看護学研究科。その第1期生みなさんに直接インタビューしてきました!

室 日菜子さん
修士課程1回生
研究コース



高橋 明日香さん
修士課程1回生
研究コース



竹本 聡美さん
修士課程1回生
専門看護師コース



Q1 研究テーマを教えてください

私の研究テーマは「喪失と悲嘆」です。私たちが人生の中で経験する死別などの喪失体験と、それに対する自然な悲嘆反応は、さまざまな観点から論じられています。研究を通して喪失や悲嘆に関する理解を深め、悲嘆に暮れる人々への多面的な援助につなげたいと考えています。

難病患者の災害時個別避難計画に関する研究に取り組んでいます。難病患者は継続した医療行為や特殊な薬が必要だったり、ADLの急激な低下など、特別な配慮が必要な方々です。災害が起こった際に、地域の力も借りて、住民みんなの命が守られるために、どう取り組むと良いのか研究を進めているところです。

高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアについて興味があります。高齢者の尊厳を保持するには病院内の医療スタッフをはじめ、家族や地域の医療・福祉スタッフとの連携が必要であると臨床の経験から感じていました。高齢者の尊厳や連携とは何かということについての考えを深め、テーマをさらに絞り込んでいこうと思っています。

Q2 仕事・私生活と学業の両立について

授業がない時間は、課題や研究を進めたり、アルバイトをしています。仕事をしていない分、時間はあるので、自分でメリハリをつけることを心掛けています。大学の研究室では集中して研究等に取り組めるので、授業がない日でも、研究室に来ていることが多いです。

私の職場では、学業のために部分休業を取得できる制度などがあり、利用しています。加えて、職場の方々の協力は大きいです。業務量の調整をしてくださったり、他のメンバーがカバーしてくれたり、本当に人には恵まれています!

私生活については、時間がないからこそ、たくさん遊ぶぞという心意気でいます!

仕事はフルタイムで継続しながら進学しています。通学に時間がかかるため、職場では時間の配慮をもらっています。私生活では5歳の子の母親でもあり、家族の協力があつての進学だと日々感謝する事しきりです。授業以外の学びの時間をどう確保していくかが入学してからの課題であり、時間管理の大切さを感じています。

Q3 研究科の魅力・入ってよかったこと

社会人学生と一緒に授業を受けるため、実際に臨床で得た多くの経験や考え方、感じ方に触れられることが魅力だと思います。また、自分が興味のあるテーマについて研究論文等を読み、指導者の先生方や研究科の仲間と話し合うことで、新しい知見を得られ、探究できることが良かったと思います。

様々な背景をもった院生と意見交換できることが最大の魅力だと思います。1回生は社会人が多く、職種、年齢、経験など、普段の生活では会えない方が多く集まっています。職業的な立場を取っ払って話し合いができることは、本当に貴重な時間です。

魅力的な先生方が多く在籍されていること、学校が綺麗なことも決め手でした!

レポートやプレゼンテーションなどを通して、自分の考えていることを他者に伝えるように言語化することについては大きな学びになっています。また、老年看護学講座は教員の層が厚く、様々な視点から物事を考えさせていただくことができます。専門看護師コースは3人いますので、共に支え合うことができとても心強いです。

Q4 卒業後の進路展望

修了後は、看護師として病院で働きたいと考えています。最初のうちは目の前のことで精一杯となってしまうかもしれませんが、臨床の場で感じた疑問や課題を大切に、研究を続けたいと考えています。

私は働きながら院に進学しているので、継続して、今の職場で従事する予定です。研究は、現場に還元されて活かされることが最大の目的だと思います。研究的視点を持って現場で働くことで、住民の声などの質的データ、統計などの量的データから隠れたニーズを見つけ出し、みんなでウェルビーイングな富山を目指せたらと思います!

老人専門看護師について興味があるものの、なかなか踏み出せずにいましたが、富山県立大学に専門看護師コースができ、「今しかない!」と飛び込みました。終了後は資格取得のために学びを深める必要があります。病院での勤務を継続しながら、地域全体の高齢者のために看護師としてできることについて取り組みたいと考えています。

施設紹介

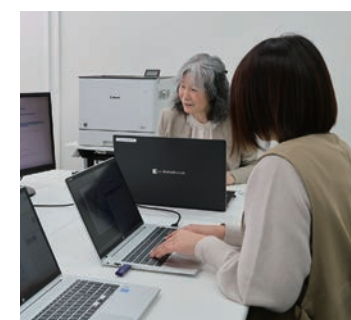
【 図書館 】



1階は自主学習等に使用できる交流スペース、2～3階はアクティブラーニングスペースを備えています。図書館には全部で約2万冊の本が蔵書されており看護に関する雑誌・論文など取り揃えられ、国家試験の勉強に励む学生や文献を調べる院生が多く利用しています。

平 日 8:30～19:00
土曜日 9:00～16:00

【 研究データ分析室 】



院生が自身の研究のために集めたデータをこの部屋で解析し、修士論文の作成等で利用する場所となっています。中央には電子黒板、解析データを取り込むPC、印刷機など完備しており、この部屋から看護研究に関する新たな発見が生まれるかもしれません。